

# ゆめみにゅーす



# YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 49  
発行日 平成30年8月2日  
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園  
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:23種点139  
鳥類:24種96点  
爬虫類:10種54点  
(平成30年7月末日現在)

## オマキのマキオです



7月2日、栃木県にある那須ワールドモンキーパークから、フサオマキザルのオス・マキオがやってきました。

来た日、翌日は給餌や清掃で部屋に入った職員の顔を踏み台にして逃げ回っていましたが、今ではだいぶ慣れ、手渡してエサを受け取るようにもなりました。ゆくゆくは隣のメスと夫婦になってもらうことが目的ですが、まずはゆっくりこちらの環境に慣れてもらいたいと思います。

人見知りで、なかなかお客さんの前に出ていかないことも多いですが、気長に見守り、もし姿を現したら優しく声をかけていただければと思います。おそらくちょっと怖い顔で口をイーっとしたり、顔を手で隠したりすると思いますが、怒っているわけではないので…。



★ゆめみ“車”マルシェのお知らせ…8月18日～10月末までの毎週土・日・祝日の11時から15時まで、園内にてキッチンカーなどによる飲食店等の出店を試行する予定です。メニューは毎回変わります。荒天中止。

## 第18回秋の動物園まついのお知らせ

- ・日時：平成30年10月8日（月・祝）10:00～15:00
- ・シマウマ餌やり体験（要整理券）、ヤギ餌やり体験、動物ふれあいコーナー、バックヤードツアー（要整理券）、コンサートコーナー、野鳥クイズコーナー、竹細工コーナーなど。詳しくは市政だより等もご覧ください。
- ・荒天中止。その他、動物の体調などによってイベントが変更になることもあります。
- ・当日は駐車場の利用はできません。公共交通機関をご利用ください。



# ★ピックアップ動物★

## フンボルトペンギン

鳥綱 ペンギン目 ペンギン科

南米チリやペルーのフンボルト海流沿岸に生息するペンギンです。野生では気候変動やネズミ等外来生物などによる生息環境の破壊などが原因で数を減らし絶滅が危惧されていますが、日本の動物園・水族館では生息地とよく似た気候や繁殖・人工育雛技術の高さにより、数を増やして、ペンギンの生理・生態の解明や保全に貢献しています。その増え方は順調、むしろ狭い日本では増えすぎというくらいで、血縁関係を調べて管理し、近親交配を避けています。そのためやたら繁殖させることはできませんが、現在バックヤードで一組の夫婦がひなを子育て中です。一度食べた魚を吐き戻して子どもに与えるため、両親の負担はとて大きく、職員も雛への給餌を補助したり、調子の悪くなった親の治療をしたり、気が抜けません。

年に一度の換羽では、水に入ってエサの魚を食べられなくなるため、事前に食いだめをしてしっかり太り、体力をつけます。春から夏に見られますが、夢見ヶ崎動物公園のペンギンたちは大体7月から8月です。換羽が始まると羽はぼさぼさでまばらになり、汚れて苦しそうな表情になりますが、ご心配なさらず見守っていただければと思います。



## 獣医の日記

5月に元気なマーコールの子どもたちがたくさん生まれました。3日連続でポコポコ生まれる日があるなど、今年は同時に集中して生まれた印象です。残念ながら生まれて間もなく死んでしまった子もいますが、現在7頭がすくすく育っています。

その中の1頭が現在足の治療のため、母親と一緒に隔離されています（詳しくはまたそのうち書きたいと思います）。治療を開始したころは毎日、今でも数日に一度、数十メートル離れた病院へ連れて行くのですが、「処置が数分で終わり、すぐに再会できる」ことが、母親も子どももわかりません。毎回毎回、治療される子どもは本気で逃げ回り、母親は子どもが獣医たちに抱えられた瞬間から鳴き始めます。この声がかたかく切ない叫び声で、個人的には後ろ髪を引かれるような思いにもなります。処置が終わって獣舎に戻しに行くと、遠くから悲しい鳴き声が聞こえてきて、扉を開けると立ち上がって待っていることもあって、思わず「ごめんねえ…」と声をかけてしまいます。

一方の子どもは、抱かれたとたんにすべてをあきらめたかのようにピタットおとなしくなり、治療中も一切騒ぎません。母親との温度差に最初はこちらも不安になりましたが、処置を終えて獣舎に戻る道すがら、母親の声が聞こえ始めると反応してグネグネ動きだすので、そのたびに、我慢しなくてもいいよう早く治ろうね…と思います。



### ★動物たちの主な移動(平成30年5月1日～平成30年7月31日)★

マーコール(♀6繁殖・1死亡・1搬出→大森山動物園、♂3繁殖・1死亡、性別不明1繁殖)、ホンシュウジカ(♀2♂1繁殖)、ハイロコクジャク(性別不明2繁殖・3死亡)、フンボルトペンギン(性別不明2繁殖・1死亡)、ポリビアリスザル(性別不明1繁殖)、フサオマキザル(♂1搬入←那須モンキーパーク、♂1繁殖・死亡)